

悠久の歴史と自然にふれる旅 玄界灘に浮かぶ国境の島・ 杵岐・対馬

歴史探訪

島めぐり

4日間

ツアーコード/JB8115S

出発日 **4月18日(月)、6月6日(月)**

■旅行代金(大人おひとり様)

出発日	2名様1室	1名様1室
4/18	155,800円	164,800円
6/6	158,800円	167,800円

■添乗員同行(全行程)

■食事/

1朝食・3昼食・3夕食付

※3・4日目は無料朝食付

■募集人員/各24名様

(最少催行人員/各15名様)

■利用バス会社:西鉄観光バス・杵岐交通・対馬交通・ホテル対馬バス

ご宿泊ホテル

1日目/杵岐・郷ノ浦:ビューホテル杵岐 和室利用(バス無・トイレ付)

2日目/対馬・厳原:東横INN対馬厳原 洋室利用(バス・トイレ付)

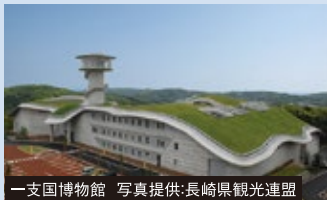
3日目/対馬・比田勝:東横INN対馬比田勝 洋室利用(バス・トイレ付)



玄海灘に浮かぶ国境の島、杵岐・対馬は青い海と雄大な自然が魅力。島に残る数々の歴史施設も訪ねます。対馬あそび湾の貸切クルーズで美しい海からの景色もお楽しみ下さい。

杵岐

福岡県と対馬の中間、玄海灘に浮かぶ島。「魏志倭人伝」に記載されている一支国の王都があったとされています。



一支国博物館 写真提供:長崎県観光連盟



小島神社 写真提供:長崎県観光連盟

一支国博物館

杵岐の縄文時代の遺跡から古墳・中近世の遺跡まで通史的に歴史を知ることができる博物館で感動がある展示を展開している。また一支国博物館は、島全体の歴史を知ることできる拠点地でもあります。



杵岐・猿岩



杵岐・はらほげ地蔵

小島神社

普段は海に浮かぶ島にある小島神社。干潮時の前後、数時間だけ海から参道が現れて歩いて参拝することができます。「杵岐のモンサンミッシェル」と呼ばれることもあります。島全体が神域とされているため、小枝1本も島の外に持ち出しはならないという慣習があります。



対馬

杵岐

福岡県

佐賀県

日程	行程	食事
1	新千歳空港7:30~10:05発----->羽田空港乗り継ぎまたは直行便)----->福岡空港==博多港~高速船又はフェリー<150分>~>杵岐・郷ノ浦港== 岳ノ辻展望台<20分> ==杵岐・郷ノ浦18:00頃【泊】	× × 夕
2	杵岐・郷ノ浦7:50頃== 猿岩<20分> == 原の辻遺跡<15分> ●一支国博物館<60分> == ○左京鼻<15分> ==== ○はらほげ地蔵<15分> == ○小島神社<30分> ==杵岐・芦辺港~>高速船<65分>~>>対馬・厳原港=対馬・厳原17:30頃【泊】 ※高速船の時間が変更する場合があります。	朝 昼 夕
3	対馬・厳原8:30頃== ●万松院<45分> ==== ○お船江跡<20分> == ○石屋根倉庫<10分> ==== ○万関橋<10分> ==== ○烏帽子岳展望台<20分> == ○韓国展望台<20分> ==対馬・比田勝17:00頃【泊】 ※夕食はホテル近くのお寿司屋にご案内します	朝 昼 夕
4	対馬・比田勝8:00頃== ○和多都美神社<20分> ==対馬竹敷 ●あそび湾クルーズ<90分> =>対馬空港-->福岡空港・中部空港または羽田空港乗り継ぎ----->新千歳空港20:00~21:00着	朝 昼 ×

おいしい旅



はらほげ定食

地元海女が玄海灘よりお届けするうには、香り、甘みともに豊です。紫うに、赤うに、パフンうに、三種類の新鮮なうにをふんだんに使用したうにめしが自慢のお店で人気のはらほげ定食を予定しております。



対州そば

対馬のそばは風味が強く、つなぎなしの十割そばです。古く大陸から伝わったそばの種が、品種改良されないまま、原種に近い状態で伝わっています。肥沃とはいえない対馬の土地で、細々と作られてきたそばは、島の人々の重要な食料となっていました。

対馬

晴れた日には遠く韓国を望むこともできる国境の島・対馬。複雑に入り組むアス式海岸と島の89%を覆う山林が海岸線まで続く険しい自然美が魅力です。



対馬・あそび湾



和多都美神社 写真提供:長崎県観光連盟

和多都美神社

彦火火出見尊(ひこほでみのみこと)と豊玉姬命(とよたまひめのみこと)を祭る海宮で、古くから竜宮伝説が残されています。本殿正面の5つの鳥居のうち2つは、海中にそびえ、潮の干満により、その様相を変え、遠く神話の時代を偲ぼせる神秘的な雰囲気を漂わせています。